

WING NEWS

HONDA FLYING CLUB



HONDA FLYING SCHOOL

1997. FEB



石川島 T-2試作偵察機

1927年 木製羽布張り

動力：イスパノスイザ水冷式V型12気筒
450HP

プロペラ：リード式 金属製固定ピッチ2翅

全幅：14.01m 下翼幅：12.246m

全長：10.293m全高：3.853m

主翼面積：23.4㎡

重量：自重：493kg、実用上昇限定：7150m

航続時間：6.0h

武装：機首7.7mm固定機銃×2

後席7.7mm旋回機銃×1~2

乗員 2名

製作機数：2機

迎春

ホンダフライングクラブ会長

杉田政男



新年明けましておめでとうございます。

クラブ員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

ペルー大使館公邸人質事件で日本国中が落ちつかない年

末年始を迎えました。今年は波瀾の年となりそうですが、皆様とご一緒にホンダフライングクラブの益々の発展に努めたいと思います。

本田航空も、社屋と2階部分を改装され、業績の順調な進展と相まって新しいスタートを期されていると聞いております。共にあるフライングクラブとしてご同慶に耐えないところです。

昨年のクラブの活動も実効のあるものを目指し、計画通りに進んでおります。そして、前年度に続いて今年度も日本航空に心よく引受けて戴きました8月の大型機のフライトシミュレーターの体験飛行と整備工場の見学は非常に人気の高いものがありました。また、10月のクラブ大会では、プレーオフでも優劣がつかず、葛井さんと荒井さんの2名が優勝されレベルの高いことが証明されました。その他にも、いろいろとイベントが企画されその成果も出てきております。今年は更に新規に、2月にミニクラブ大会、3月に横田基地見学会など計画されておりますので、奮って皆様もご参加下さい。更に表彰制度もスタートとしますので、我こそはと思われる方は、積極的にフライト致しましょう。

今度、本田航空の方からホンダフライングクラブに対して、フライングクラブの飛行時間が600時間を越えれば、それ以上の飛行料金の半分を、フライングクラブに提供しようという提案がありました。現在、クラブ員数（スクール生を含む）約450名で、ライセンスが約300名ですので、1人1時間更に飛行して戴くと300時間増となり、150時間を超えることになれば250万円の原資となります。今年度の予算額と同じような額となり、もっといろいろな活動が出来るようになります。このような提案に対して、積極的に対応して、もっとクラブ活動を楽しいものにしていきましょう。

今年度は、各行事の後に、ささやかでもよいから懇親会を開き、クラブ員の皆様がお互いに交流できるように設営しており好評であります。その他にも、飛行場及びクラブルームにおいて空の仲間同志楽しく過せるようにクラブ役員一同本田航空の皆様ともども考えておりますので、どしどしご意見、アイデアを出して戴きたいものと思っております。

このところ飛行場では、半年間で2件の事故が発生しております。幸いに、搭乗者に怪我はありませんが、クラブ員の皆様におかれましては、緊急事態に対する心構え、緊急手順

の確認、気象に対する判断処置、見張り及び健康管理等に十分気を付けられ、安全飛行でフライトを楽しみ腕を磨いて下さい。

今年もホンダフライングクラブが更に発展できますよう、皆様のご支援をお願い申し上げますとともに、併せて皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。



1997年の冒頭にあたり

本田航空株式会社

運航部長 近藤 眞

ホンダ・フライング・クラブ会員の皆様、新年おめでとうございます。皆様方には、本田航空を日頃格別にご愛顧をいただき、深く感謝いたしております。クラブ理事の方々と共に計画した、年間行事等にクラブ会員の皆様が、積極的に参画して頂いておりますので、現在は活発なクラブ活動の状態にあると思います。クラブ飛行時間も少しずつではありますが増えてきていますので、クラブ会員皆様の大空への情熱が高まっているような感じが致します。

安全で快適な航空機の運航を提供することは、航空会社の目標であり使命であります。本田航空も常にこの課題に取り組んでいきます。その一例として、社内に安全推進委員会を持ち組織を離れた啓蒙活動を行っています。他に、環境整備を目指すことも大切であると考えており、一時ご迷惑をお懸けしました運航管理棟の改修工事を機会に、運航施設の清潔な状態を保っていきたいと思います。ホンダ・エアポートエプロン地区の補修作業及び飛行機の座席シート張り替え等を実施するなど、現在の状況において行える範囲でクリーンな環境を整えていくつもりです。

平成4年6月に発生した事故以来、ホンダ・フライング・クラブは4年6ヶ月の、無事故期間を更新していますが、これはクラブ会員皆様一人一人のご協力によるものです。一日でも長く無事故期間を伸ばすよう無理のない、ゆとりのある、爽快なフライトを目指して頂きたいと願っています。

航空の発展は、底辺の一つであるクラブ飛行の活性化が重要であります。クラブ理事の方々と共に、更なるイベントを企画し、1時間でも多く楽しいフライトができるよう努力していくつもりです。クラブ会員の皆様には既に通知済みですが、2月にミニ・クラブ飛行競技大会には、ぜひ多数の参加をして頂きたいと思います。

寒に入ってひとしお寒さが厳しくなり、パイロットである皆様には大変健康管理に、気を使う季節となりました。季節柄皆様方のご健康を、心からお祈り申し上げます。

今年もホンダ・フライング・クラブ共々、本田航空を宜しくお願い致します。

コングラッチュレーションズ

教官から
ひとこと

●ファーストソロ



市川浩和さん
平成8年12月30日 JA3937



鳥越芳博さん
平成8年12月22日
ロビンソンR22 JA7911

●実地試験合格 教育証明



JAL 高瀬 光治さん JA4025
宮田 正行さん JA3938
平成8年11月29日

単独前に少々悩んだものの、訓練始めてから概ね順調に進んで来ました。当日はヘイズが濃い天候でしたが実力を十分に発揮。見事に単独飛行に出る事ができました。

大坂教官

毎週休みの日には訓練にこられ天気にも恵まれて順調にソロに出られました。本田初へのりのファーストソロです。おめでとうございます。

無線の免許を独学で取得し又よく勉強しておられ非常に教官思いの訓練生です。次は学科試験を頑張ってください。今度は一番の理解者である奥様をつれてきてあげてはいかがですか。

松本教官

おつかれさまでした。

ナパで教官としてがんばってください。

たまには本田航空にも遊びに来てください。

近藤・山本教官



冬から春の行事予定

●2月1日～28日 ホットスプリングフライト

ホットスプリング・フライト(温泉フライト)

2月には温泉行きのフライトを計画しています。詳細は運航部までお問い合わせ下さい。

日帰りモデルコース：①ホンダエアポート→山形空港→タクシーで天童温泉旅館

②ホンダエアポート→大島空港→タクシーで浜の湯温泉

③ホンダエアポート→新島空港→タクシーで露天温泉

④ホンダエアポート→福島空港→タクシーで磐梯熱海温泉旅館

一泊 モデルコース：ホンダエアポート→花巻空港→タクシーで花巻温泉旅館(同乗のみ)

補助金¥5000がクラブより出ます。(但し、補助金は1人1回のみ)雪に気をつけて皆様こぞってフライトして下さい。

冬のミニ飛行競技大会のお知らせ

ホンダフライングクラブでは新しい試みとして、この2月にミニ飛行競技大会を開催する事となりました。詳細は皆様に別送致しましたが、競技の期間を2月15日(土)から2月23日(日)の9日間と定め、(最終日は15:00にて競技は終了します。)皆様のご都合の良い時に順次競技を実施し、その得点を競うものです。競技の御参加については前日までに電話でお申し込みください。

尚、最終日の2月23日(日)の16:00には表彰式及び懇親会を本田航空の社屋内にて開催致しますので競技の参加不参加に係わらずクラブ員相互の親睦を深めるためにも是非ともご参加をお願い致します。

参加申し込み：☎0492-99-1105

本田航空運航部(直通)

お申し込みの際には、(1)「競技実施のご希望日時」

(2)「表彰式、懇親会の参加、不参加」をお願いします。

3月のクラブ見学会

横田基地の見学会を3月20日（春分の日）に予定しておりましたが、横田エアロクラブ及びRAPCONとの調整の結果、3月22日(土)に変更となりました。詳細につきましては別途御連絡致します。御期待ください。

ホンダフライングクラブ表彰のお知らせ

いよいよ表彰制度がスタートします。

第一回目は平成9年3月31日現在で、主として下記の設定時間、又は飛行経験年数を越えたクラブ員の皆様を表彰致します。あと2カ月、対象間近かの皆様、栄えある第一回目の受賞を目指してみませんか。まずは自分のLOG BOOKをC'Kしましょう。

表彰対象

- (1)飛行時間 : 最初に300飛行時間、その後は100飛行時間毎。但し、その前の過去1年間に本田航空の航空機で6時間以上飛行したクラブ員等（含スクール生）、又オーナー・パイロットはクラブ員であり、ホンダエアポートを利用して6時間以上の飛行をした場合を対象とします。これはクラブ入会前の飛行時間も認められます。（但し、職業としての飛行時間、及び飛行経験年数は除き、航空法違反で処罰された後、2年間は対象外となります。）
- (2)飛行経験年数：10年目、次に5年毎。過去1年間に6時間の飛行の条件は必要ありません。ホンダフライングクラブ入会後の年数となります。
- (3)その他、クラブに貢献した人：理事としての貢献、クラブ活動への協力、寄付、本田航空の整備等。

●飛行認定法

自己申告、又は会員、会社の推薦で理事会で承認する。

●表彰

賞状及び記念品、副賞

（表彰者はウイングニュースにて御紹介いたします。）

毎年3月31日に自分が表彰対象になっているかどうか確認して下さい。空と航空機を楽しむ新たな目標にして下さい。4月30日までに自己申告をして下さい。（申告もれは表彰の対象になりません。）



①いきなり露出オーバー
Piper Tri-pacer



②Maule M-4
アメリカ製のSTOL



③PZL-104 Wilga ポーランド製。260hp
星型エンジン装備のUtility Aircraft

オーストラリア空通信(4)

ポイントクック空軍基地祭に行く

No.1884 西澤尚道



④AT-6 Harvard
Texanとどこが違うんでしょうね…。



⑤PZL-TS-11 Iskra
Iskra とはポーランドでは稲妻のこと



⑥正式名、忘れました!!
Bulldog. 初等練習機。

3月31日午前9時、自転車でPoint Cook AFBに辿り着く。空を見上げれば2000ft程度のovercast。果たして本当にデモフライトはあるのだろうか。入場料\$5を払い、会場に入るといきなりPiper Apache, Bell Jet Ranger での遊覧の誘い。15分で\$20。まあ、特に金を払って「後席」に乗る必要もあるまい。無視無視。地上展示に目を移す。おお、いるではないか、日本ではお目に掛かれぬような珍種や骨董品(失礼!)が。写真でしか見たことの無いようなものばかり。個人的な趣向と偏見により、写真①, ②, ③。

地理的要因、世界情勢の変化から、この国の国防、空の守りは専ら北部に集中している。この基地も初等練習が中心のため、どことなくのんびりした雰囲気である。いわゆる日本で言う基地祭よりも、General Aviationのエアショーの性格を持つ。軍用機の展示といっても練習機やC130では魅力のかけらも無い。まあ平和で良いか…。



⑧F28 Trojan
やたらとデカいんです…。



⑨Cessna 180



⑩まあ、カナードは良いとして…



①これはちょっと…。

②「前翼」にelevatorとLanding gear
「後翼」にaileron

③Fokker DR-1もちろんレプリカそう言えば最近Fokkerが倒産したとかしないとか…。

オーストラリアの国旗を付けたジャンパーが着地してショー開始。練習機によるデモフライト。自衛隊の基地祭のように機動に関する制約が無いので小粒ながらもダイナミックで楽しめる。自作機も2タイプがフライト。Q-200 (①, ②) は、確かに理屈では、そして実際に目の前で飛んでいるのだが、何とも異様である。こういうものが飛んで良いのだろうか。デモフライトは、この他にフォッカー三葉機 (③)、Piper Apache、Lsser Unlimited Birddog の超短距離離着陸、何故かウルトラライトと、どれもが自分には新鮮に見える。人間のようには異常に混む訳でもなく、周囲では折り畳み椅子を持ち出し、弁当を広げ、ピクニック気分。こちら、そこの坊や、お菓子食べていないでちゃんとヒコーキも見なさい…。

御想像の通り、展示機の大半は個人所有機である。PA-28等のお馴染みの顔ぶれに混じってFA-200を発見！ ショーの終了後、オーナーが戻るのを待つ。現れたオーナーは家族4人でショーを訪れており、聞けばMelbourne International Airportの管制官。頼んで飛行機の前で写真を撮らせてもらう (④)。飛行機そのものはクセが無くて好きだが、1968年製なので保険や維持費がバカにならない、とのこと。ウチの大学でも1971年製を手放したもんな…、大事にしてやってくれ!!



④Harvard のformation



⑤Ultra Light のformation
初めて見ました…。



⑥休日に Moorabbin に行くとその連中が Formation Take offの練習をしています…。

ショーの締めくくりはRoyal Victorian Aero ClubのPA-28の編隊飛行 (⑥)。本当にこの国のGeneral Aviationは元気である。会場のアナウンスが告げる。

「DC-3でお帰りになる、羨ましい限りの招待客の皆さん、DC-3はあと10分でお出します。」

乗り遅れないように。席が余っていたら私が乗っちゃいますよ!!」

ふと見ると、Pearson AviationのC172がタキシングしている。Richard だ! そう言えば、遊びに来るかもって言うていたな。おい、後ろが空いているじゃないか、おーい、Essendonまで乗せてってくれー、待って待って、ああ…。



①7 今回のAirshowで
最大の獲物!!



①8 FA-200-160!!
と御本人西澤さん

※編集の都合により1年遅れの掲載をお許し下さい (編)

ホンダフライングクラブ安全講演会報告

平成8年12月7日(土)忘年会に先だって、東海大池田良彦教授による「航空に係わる管理者の法的責任について」の講演を35名の方が熱心に聴講しました。クイズなど出され面白くかつ有意義にお話を伺いました。その要旨は次のような内容でした。

1. 使用者、監督者としての賠償責任の追求は、これまでは被害者を救済する立場から民事法で扱われていましたが、昭和57年のホテルニュージャパン火災事故で、刑事法でも監督刑事過失責任されるようになってきています。従って、監督者の立場から安全管理、教育管理体制が問われるようになってきています。

2. ハイジャック防止の為に国際条約に基づき「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」が制定されました。その第6条に過失犯の規定があり、その法律が一人歩きし、飛行する人を思わぬ罪に落ちいる可能性を秘めています。即ち「過失により航空の危険を生じさせ、又は航行中の航空機を墜落させ、転覆させ若しくは覆没させ、若しくは破壊した者は、……罰金に処する。」プロはもっと重い罪にするといった内容です。



実際に、昭和52年の女満別でのYS-11の胴着、昭和60年の那覇での全日空機と航空自衛隊のMU-2との接触事故は、有罪になっています。(但し罰

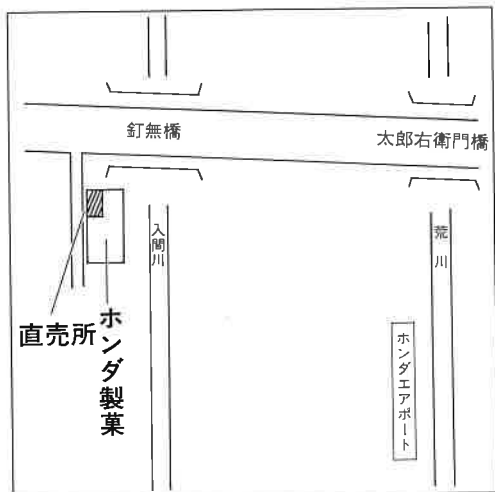
金のみ)

昭和60年の日航のB-747お巣鷹山墜落事故では、関係者が訴訟される直前までいきましたが、主原因が米国であり、米国で訴訟されないということで取り止めになりました。

車では、人身事故でなければ刑事訴訟はありませんが、飛行機の場合、過失で機体を壊しても刑事訴訟される可能性がありますので、ご用心ご用心です。



せんべい「ホンダ製菓」



定休日 日曜日、祝日

営業時間 9:00~17:00

今回は、ホンダエアポートの近くでおいしいせんべいの製造・直売をしている「ホンダ製菓」をご紹介します。

ここでは堅焼き、やわらか焼きの醤油味をはじめ、胡麻、のり、抹茶など多彩な品揃えが自慢です。またできたてせんべいの直売もOK。直売ならではの低価格も魅力のひとつです。ご家庭へのおみやげにホンダエアポートの帰りにぜひ一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

新入会員紹介

フライングクラブ

- 1931 日和一郎 H8.12.2
- 1932 田伏隆興 H8.12.2
- 1933 森光 剛 H8.12.14
- 1934 木村美加 H8.12.28

フライングスクール

- 5666 関純一郎 H8.11.23
- 5667 浅倉幸策 H8.12.7

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

3 月中に切れる方

大澤成仁 H9.3.14

4 月中に切れる方

上野匡史 H9.4.25

小山和彦 H9.4.8

●申請に必要なもの

住民票 1 通

練習許可申請書 1 通

②申請書の住所は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さず書いて下さい。

また、欄外に捺印を押して下さい。

写真（インスタントは不可）3.5cm×4.5cm 2 枚

②写真の裏側にかならず記名して下さい。

印鑑（シャチハタ不可）

申請諸費用 3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館） 03-3211-4845

中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F） 03-3452-4468

国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く） 03-5757-1122

聖母クリニック（立川市羽衣町1-7-10） 0425-22-5234

【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っているスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空、運航部まで御連絡下さい。 TEL 0492-99-1105（運航部直通）

クラブ員の皆様へ

・本田航空では昨年の11月から今年の1月にかけて、社屋外壁と2階の内装のリニューアルが行なわれ、面目を一新しております。新しくなった本田航空に是非おいで下さい。改装記念として、2月及び3月にフライトして戴きました先着50名様に記念のテレホンカードを差し上げます。

・「ホンダエアポート」が禁猟区となりました。昨年の11月から、ホンダエアポートも禁猟区となり、猟銃を持った人を最近見かけなくなり安全になりました。また、キジ等も最近よく見かけるようになりました。

・本田航空ではホンダフライングクラブ又はスクール入会希望者及びホンダ車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員・スクール生の型に無料飛行券を進呈しております。

クラブ又はスクール入会の紹介…1時間飛行券、ホンダ車購入希望者の紹介（成約のみ）…20分間飛行券

・エプロン拡張工事の為、エプロンの東側駐車場付近の通行方法が変わります。詳細は運航管理にて確認して下さい。USE CAUTION!

ウィングニュース 142号

発行者/埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1
本田航空株式会社内
ホンダフライングクラブ事務局
Tel 0492-99-1105(代) 〒350-01

表紙イラスト/板橋 繁男

HONDA
FLYING CLUB